

-(으)ㄴ/는 참에

ちょうどそのとき、～するついでに

5級の -(으)려던 참이다 の応用形です。タイミングの一致とついでの両方を表します。

■ つけ方

品詞	形	例
動詞	-는 참에	가다 → 가는 참에
過去	-(으)ㄴ 참에	온 참에
意図	-(으)려던 참에	가려던 참에
ついで	-(으)ㄴ/는 김에	近い意味
よく組む語	마침	ちょうど
分かち書き	참 は名詞	가는 참에

■ -(으)ㄴ/는 김에 どう違うか

タイミングの一致を示します。막 나가려던 참에 전화가 왔어요 (ちょうど出かけようとしたときに電話が来ました)。

ついでの意味もあります。온 참에 차나 한잔하고 가세요 (来たついでにお茶でも一杯飲んで行ってください)。

김에 との違いは時間性です。김에 가 「せっかくだから」という機会の活用なのに対し、참에はその瞬間に焦点があります。

마침 とよく組みます。「ちょうど」を添えると偶然の一致がはっきりします。

■ 例文

- 1 마침 나가는 참에 우편함을 확인했어요.
ちょうど出かけるついでに、郵便受けを確認しました。
- 2 시내에 나온 참에 서점에도 들렀다.
街に出たついでに、書店にも寄りました。
- 3 그렇지 않아도 이야기를 꺼내는 참에 잘 오셨습니다.
ちょうど話を切り出すところに、よく来ていただきました。
- 4 밥을 짓는 참에 국도 함께 끓였다.
ご飯を炊くついでに、汁も一緒に作りました。
- 5 직접 만드는 참에 하나 더 만들어 드릴까요?
自分で作るついでに、もう一つ作ってさしあげましょうか。
- 6 회의가 끝난 참에 남은 일을 정리했습니다.
会議が終わったついでに、残った仕事を片付けました。

■ 紛らわしいもの

-(으)ㄴ/는 김에
「せっかくだから」で機会の活用です。참에 は瞬間の一致に焦点があります。

온 김에 (せっかく) / 온 참에 (ちょうど)

-(으)려던 참이다
5級の項目で「しようとしていたところだ」です。文末で使います。

가려던 참이었다 (文末) / 가려던 참에 (接続)

-(으)ㄴ 때
単純な時点です。참에 は偶然の一致やついでを含みます。

갈 때 (時点)

■ まちがえやすい点

- ✕ 가는참에
○ 가는 참에
참 は名詞なので分かち書きします。
- ✕ 좋은 참에
○ 좋은 김에
形容詞にはあまり使いません。
- ✕ 갈 참에 — 誤りではありません
○ (가는 참에 が一般的)
現在形か過去形を使うのが自然です。